

平成 26 年度 栃木支部 秋季昇級審査会

平成 26 年 11 月 16 日（日）午後 1 時 40 分より栃木県体育館にて宇都宮平出道場・足利道場合同の審査会が実施されました。

審査会には、少年部・一般部の道場生 27 名が受審し道場生の中には審査開始 1 時間半も前から来て柔軟体操、型等を稽古している道場生が多くみられ感心しました。

審査会は、最高師範の号令で通常の稽古と同じように基本稽古から始まり型、補強と進み、初めて審査を受ける白帯には、前屈立ちからの移動で足と手の動作を説明し一緒に型をやってくださいました。

今回、茶帯に挑戦する少年部の床井晃希(3 級)には時間をかけ審査して下さり「空手の呼吸法の一つ「息吹」ができなければ息吹の型もできないぞ、息吹は喉と丹田に力(意識)を入れて「あ」と「か」の間でやるんだ」とわかりやすく説明して下さりました。

前回の審査会から半年がたち全員が拳立てで数をこなし、組手では前に出る下がらない組手ができました。

今回の反省点は道場生全員の「息吹」です。

審査会後の懇親会では、カナダでの大会、セミナーの話を聞かせて下さりありがとうございました。

押忍

大石道場 栃木支部宇都宮道場生一同



基 本 稽 古



白帯へ型の指導



オレンジ帯の型



青帯へ型の指導



黄色帯の型



緑帯の型



大石最高師範と栃木支部指導員



審査会終了後の記念撮影